



伊豆の国市 議会だより

2016年2月1日発行

No. 40

編集

伊豆の国市議会だより特別委員会

〒410-2292 静岡県伊豆の国市長岡340-1

☎ 055-948-1417 FAX 055-948-2913

<http://www.city.izunokuni.shizuoka.jp/>

12月定例会

正副議長あいさつ 2

常任委員会報告 3~4

一般質問 5~9

議会報告会 10~11

議決結果・賛否一覧 12

北江間の菜の花畑

正副議長交代

前議長の職の辞任に伴い、12月定例会最終日に正副議長選挙が行われ、投票により決定しました。



議長
鈴木平一郎



副議長
田中正男

就任あいさつ

このたび、私たちは12月定例会におきまして議長、副議長に就任しました。

このような議会の要職を担わせて頂きますことは、身に余る光栄と存じますとともに、その責務の重大さを痛感しているところであります。

今、地方創生や人口減少問題など直面する課題に対し、地域が特徴を活かし、創意工夫による持続可能な社会の実現が求められています。また、一方では多様な市民要望がありますが、市の各種施策の推進にあたっては、議会の役割を踏まえ、積極的に課題に取り組んでまいりたいと考えております。

市議会としまして、本市の更なる発展と市民の福祉増進に向け市民と協働し、安心・安全なまちづくりを目指して、全議員が一丸となって努力をしてまいりたいと覚悟であります。

今後とも、皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

総務観光建設委員会

伊豆の国市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報情報の提供に関する条例の制定

■マイナンバー制度に伴う、この条例の内容と利便性は。

各機関の分散管理する個人情報をつなぐ役目を果たし、国や地方公共団体等における情報連携が可能になる。

社会保障関係の各種申請で、書類の添付が減り、行政手続きが早く正確になる。

平成27年度一般会計補正予算

■観光施設整備事業補助金で、県へ210万円返金する理由は。

取り壊す葦山反射炉内のトイレは、平成19年3月に総工費2173万円余で設置。その内4分の1の430万円が、県からの補助。

耐用年数15年に満たないため、県と協議し210万円を算出し返還するもの。

■選挙管理委員会運営費128万4000円の内、県補助金が63万3000

円だが、国からの補助はないのか。

選挙システムで標準事業費が決められ、本市は、126万6000円。

その2分の1が限度額で、63万3000円が県補助金。国の補助金はない。



■防災関係備品管理事業558万1000円の内容は。

市内小中学校9カ所に防災用テントと、災害時に避難場所の体育館等に敷くスポンジ製マットを購入。

また、災害時に一般電話や携帯電話が通じないときにも、回線がつながる衛星携帯電話1台を購入する。

■財政調整基金の現時点での残高は。

補正後、33億3044万1000円。

■ふるさと寄附金推進事業3570万9700円の内容は。

今後、予測される寄附金2350万円は、ふるさと応援基金に積み立てる。寄附者に、寄附金報償として寄附金の半額に当たる1175万円を、感謝券として支出する。

閉会中の事務調査(県外研修)

■視察研修報告

■視察研修月日

平成27年11月4日～6日

■視察研修地と研修内容

●千葉県鴨川市・亀田総合病院「地域人口減少対策と鴨川市再生への取り組み」について

千葉県南部の基幹病院として、370年の歴史があり、優れた人材及び高精度機器を導入し、急性期医療を担っている。

病院の存続に関わる人口減少を、いかに止められるかに挑戦して独自の「南東京市構想」を提案している。

●鴨川市役所「観光振興」について

従来型の観光客数は、減少傾向にある。一方で稲作体験や陶芸体験などが芽吹き交流人口は伸びている。

民学官が一体となった観光振興として、観光プラットホーム推進協議会が事業展開し、教育旅行等の受け入れに実績を上げている。

●君津市役所「文化のまちづくり市税1%支援事業」について

市民団体等が自主的に行う地域活性化及び、特色ある街づくりに役立つ事業を支援し、補助金を交付している。

5年を区切りとし、自主・独立・採算を促している。

●成田市役所「表参道整備事業」について
地元の街づくり協議会と市の協働事業。

歴史的建造物のある門前地区と、現在の機能を有する駅前地区の緩衝帯として、既存建物の改装をしながらも、伝統的な街並みを反映した建築物の正面装飾の統一や、電柱地中化、セットバック事業をはじめとする整備を進めている。



成田市役所での視察の様子

福祉文教経済委員会

野外活動センター(旧大仁東小)の設置、管理及び使用料に関する条例の一部を改正する条例

■新しく整備したシャワー室の使用料を1時間1000円(団体が占用)とし、キャンプ場の使用料は宿泊の場合300円にシャワー料50円を上乗せし350円(一人)とするものだが、団体同士で使用時間がかぶることはないのか。団体同士で話し合っていたら、17時〜21時30分の間で使用する時間帯を決めていただく。

■新たに厨房設備の使用料を1回3500円徴収するものだが、高いのでは。今まで団体が貸し切る状態で使用している。冷蔵庫・エアコン・ガス・給湯器もあり、団体で借りる想定でこの金額を設定した。



シャワー室

平成27年度一般会計補正予算

■大仁リサイクルセンター災害復旧工事8000万円の内容は。

平成27年9月9日の台風でのり面崩落した部分の復旧を、国の災害復旧費補助金4000万円、市債4000万円で実施するもの。

■有害鳥獣捕獲報償5万7000円の増額の理由は。

平成26年度の捕獲数は、イノシシ127頭、シカ52頭だったが、本年度は既に上半期でイノシシ118頭、シカ56頭を捕獲している状況のため。

■健康づくり課職員の時間外勤務手当6万7000円の増額の理由は。

保健師はもともと9名の配置だったが現在は6名である。

非常勤看護師は週3日6時間勤務であり、保健師が不足しているので、その対応のため。

■障害者(児)自立支援給付費事業の介護・訓練給付費4736万8000円の内容は。

当初の予定を上回る利用がある。居宅介護で約1000万円、施設入所支援と短期入所で約500万円の増額。特に、就労移行支援給付費で約1500万円の増額を見込んでいる状況。

開会中の事務調査

■視察研修報告

1 視察研修月日

平成27年10月20日〜10月22日

2 視察研修地と研修内容

●長野県松本市「創業支援の取り組みについて」

創業者が店舗等を賃借する場合の家賃補助や融資の利子補給、創業セミナー等を行い創業支援に努めている。平成15〜26年で、301店舗が出店し、約200人(6割が30〜40代)が移住するなどの実績が出ている。

●長野県中野市「医師確保に向けての取り組みについて」

平成16年に「新医師臨床研修制度」が施行され、卒業生は研修先に都市部や有名大病院を選ぶ傾向になった。地域の基幹病院(北信総合病院J A厚生連)でも、医師の大学への引き上げにより医師不足が深刻化し、市と北信総合病院が連携して制度を立ち上げた。貸付月額は20万円、病院に医師として勤務した時は返還が免除される。制度活用後の勤務医師は5名である。

●長野県茅野市「24時間電話対応を含めた子育て・教育相談への取り組み」

子ども生活実態アンケートの実施、子どもフォーラムの開催、子ども・家庭支援計画策定委員会の発足などを経て、「茅野市こども館0123広場」「CHUKOらんどチノチノ」が開設された。駅に隣接する民間大型ショッピングセンター内にあり、利便性も良く、平日・土日を問わず多くの利用がある。



茅野市子ども館

●山梨県南アルプス市「6次産業化拠点施設の現状について」

「完熟」をテーマにした、フルーツ農園を楽しむグルメ施設。南アルプス市が、地域特性化特区として、「競争力と持続力のある6次産業化モデルの構築特区」を申請して整備したもの。

オープンしたばかりだが、経営はなかなか厳しい状況のようであり、6次産業化の難しさを感じた。

人口減少対策について

小澤 五月江

問 若い男女に参加しやすい出会いの場の提供と、他市町と情報を共有した婚活支援に取り組む考えは。

答 婚活支援策は、社会福祉協議会へ委託し、民間で実施している方や、商工会青年部などで実行委員会を設立し事業を進めている。今後、広域連携を視野に入れ、検討している。

問 市ゆかりの資源を利用し、ナギの木で縁結びと夫婦円満。神島地区の子育て地蔵で、コウノトリストーリーとして観光に活用し発信する考えは。

答 ナギの木の葉については、観光資源としての活用の可能性について研究していく。また、市独自の地域資源を結婚、子育てのパワースポットとして位置づけ、観光や子育て情報として広く発信していきたい。

野外活動センター

問 青少年活動での利用状況は。

答 ふるさと学級、子ども会等に積極的に活用されている。

問 常駐管理者を配置し、宿泊のできる施設にしていこう考えは。

答 宿泊を希望する声を聞いているが、宿泊可能施設となれば、専属職員を配置する必要がある。また、簡易宿泊所への変更が必要となり、各種手続き及び室内の改造が必要となることから、今後、関係者等と調整し検討を進めていきたい。



野外活動センター

市の歌「夢色の空」

問 市歌の普及を図るため、市の公共施設などで流す考えは。

答 市民の皆様への普及の取り組みとして、公共施設等で流すことは効果的な方法であると考え。実施に向け検討していく。

幼稚園の授業料について

内田 隆久

問 国の子ども子育て支援制度に基づいて改定するということですが、その制度の狙いは何だと考えますか。

答 すべての子供に良質な幼児教育、保育をとというのが支援法の柱となっている。

問 10月の初めに、幼稚園の父母に平成28年度から授業料を変更していく予定という通知がされた。そこに国の基準と現状の授業料が記載されており、その金額の差に驚いた方が大勢いた。

どのような考えで、この通知を配ったのですか。

答 平成28年度授業料も変更する可能性があるということでお知らせした。

問 「伊豆の国市子ども子育て会議」で利用者のサービス内容が変わらないのに、料金だけが高くなることや、人口が流出してしまうという意見が出ているが、どう考えていますか。

答 サービス向上に努め、周辺市町と比較しながらの検討になる。

問 答申では、財政状況から多子軽減制度の拡大を見送っている。11月20日に、「具体的な金額が出ていない。」「庁内意見が出そろっていない。」「議会との協議が進んでいない。」ことを理由に、平成29年4月スタートに訂正の報告がありました。国の制度改正に合わせての歳出削減を市が考えたのでは。

答 恣意的なことはなかった。今後、財政状況等も踏まえて検討していきたい。

問 値上げのない制度改正が一番良い。全国各地で安価な子育て支援をやっている、当市でも考えてもらいたい。政府の「一億総活躍社会実現」では幼児教育無償化の段階的実施をうたっています。

答 それらを踏まえた上で、これから決定していきたい。



のぞみ幼稚園

世界遺産韮山反射炉など本市が誇る 歴史的文化的資産の活用について

梅原秀宣

問 韮山反射炉の活気が全市全市民に広がるようまちづくりへの取り組み、旅館協同組合、商工会等各種団体との連携、江川邸や願成就院への助成並びにセット券について市の見解は。トイレについては苦情が多いがどう対処するのか。また、歴史ガイドの手が足りず厳しい状況におかれているが今後の支援策は。保全への意識を高めるため七月五日を世界遺産登録記念日としてイベントを行ってはどうか。



今年度入場者数 50 万人達成記念式 (12 月 18 日)

答 韮山反射炉、江川邸とも飛躍的に入場者数が伸びており、これを契機にその効果を市内全域に波及させてまちづくりを行う。また、各種団体との連携により伊豆の国市版 DMO の設立を目指す。江川邸・願成就院とも本市の大事な観光資源であるのでセット券やシャトルバスの巡回コースに韮山駅を入れるかは検討の余地がある。

トイレはガイダンス施設ができるまでは土産物店のトイレを借りることにしているが、仮設トイレの予算化も検討。ガイドについては引き続き募集を呼び掛けるとともに、要望については最大限の支援をする。記念イベントについては予算化する方向で考える。

多田池の利活用について

問 多田池(農業用水池)は秋になると水が止まりため池と化す。そのためヘドロや腐ったヒシによる異臭が発生し区民は悩まされている。かいほりをするなどして用水池としての長寿命化を図るべきと考えるが市の対応は。

答 しゅんせつ工事をする等多額の費用がかかるが、国・県の補助制度はない。韮山土地改良区と協力して、状況を見ながらどのような手が打てるか検討したい。

市民力を資源に活用した 観光まちづくり(DMO)

柴田三智子

問 平成 27 年 3 月に策定された観光基本計画の推進体制とは。また、地域の情報を管理し NPO、各種団体及び市民と連携し企画戦略を考え市独自の着地型観光(DMO)を検討してみても。

答 観光戦略会議を 5 月に立ち上げ、計画の施策を推進。多様化と個性化が進む旅行者マーケットに柔軟かつ的確に対応するための観光まちづくり体制として、伊豆の国市版 DMO の設立を目指している。さらに、伊豆地域の魅力向上となるよう広域 DMO と連携を考えている。

市民協働について

問 「広報いずのくに」に、パートナーシップ受託団体、地域貢献を行っている NPO・各種団体、また個人など、市民活動の情報発信の場として紹介スペースを作ってはどうか。

答 また、将来に向け、市民協働推進条例を検討される考えは。

答 パートナーシップ事業に採択された団体を広報に掲載したい。その他の団体や個人については、活動の趣旨や内容を十分把握し、掲載基準を設け慎重に考える。

この活動を支援していくためにも、市民協働推進条例の制定も、一つの有効手段だと考えている。

韮山・長岡ゴミ焼却施設は

問 廃炉後の跡地は、どのように活用しようかと検討しているか。また、将来、ゴミ袋を値上げする予定は。

答 韮山ゴミ焼却場は、借地である土地は現状復旧して返す方向。長岡清掃センターは、新ゴミ処理施設の稼働前までに活用方法を定める考え。

なお、ゴミ袋については、適切な価格を算定し、料金の改定が必要であると考えている。

※ DMO とは

Destination
デステネーション・・・目的地
Management
マネジメント・・・経営
Organization
オーガナイズーション・・・組織化





長岡図書館

大仁市民会館・武道館・ 長岡図書館の今後について

三好陽子

問 昨年9月、市社会教育委員会から、3施設は耐震不足などから利用を中止すべきと答申が出され、市民が不安を感じている。今後どのようにするのか。

答 大仁市民会館は、120以上の団体が利用しており、他の施設に振り分けることは困難で、代替施設が見つかるまで利用を継続せざるを得ない。武道館は、平成28年3月末で利用を中止し、大仁中学校の武道場を利用させていただく。長岡図書館も平成28年3月末で利用を中止し、図書の貸し出しサービスのシステムを検討する。

浮橋温泉の今後と有効活用について

問 平成18年1月に湧出し、平成20年度から無料の温泉スタンドが稼働しているが、今後どうしていくのかを検討する時期に来ていると思うが。

答 当面は、通常の維持管理で延命化を図り現状維持していく。大きな修繕を要するときは、一時休止や廃止もやむを得ないと考えている。

問 浮橋温泉は、合併前約1億1500万円、合併後5600万円投じてきた資源である。温泉の効能をPRして利用者を増やし、有効活用すべきでは。

答 現在、1日40人の利用である。市ホームページで無料給湯所としてお知らせしている。地元の協力をいただいて、有効活用を検討する。

平成28年度予算編成について

問 平成28年度予算は、前年当初予算比較で、約3億円の減という厳しい状況と思うが、住民サービスを低下させない予算編成を。

答 限られた財源の選択と集中を図るため、財政計画に示したとおり、物件費・補助費・普通建設費を中心に見直しを進め、さらなる創意工夫により経費の縮減を図っていく。

生活困窮者に医療費負担の 減額・免除の適用を

田中正男

問 国民健康保険法44条では、医療費の一部負担金を支払うことが困難と認められる者に対し、減額・免除ができることになっているが、市に具体的な要綱がないため適用されにくくなっている。平成21年に要綱を制定するように求めてきたが、その後どうなったか。

答 平成22年に厚労省から一部負担金の徴収猶予及び減免についての通知を受け、市は平成24年度より要綱を制定し運用している。

多子世帯の保育料が

上がらないように

問 平成22年度より年少扶養控除が廃止されたが、保育料が上がらないように、年少扶養控除が廃止されなかったと仮定した再計算をして、保育料を算定してきた。

しかし、今年度より、国は原則として再計算は廃止としながらも、市町村の判断により在園児に限り再計算を可能としたが、伊豆の国市は再計算を行

なっていないため、特に多子世帯で値上げになっていると思われる。調査して保育料が上がらないようにすべきではないか。

答 全体的には制度変更前後に保育料の大きな差異はなかったため再計算はしていないが、多子世帯については調査する。



保育の様子

住宅リフォーム助成を店舗に拡充を

問 商業者から店舗の改装に支援をしてほしいとの声が上がっている。住宅リフォーム助成に店舗も対象になるように拡充すべきではないか。

答 厳しい経営環境にある商業を振興し、商店街を活性化するため魅力ある店舗づくりは重要。来年度予算編成に向け、事業化を検討する。

火災発生時の情報は

2月から放送開始

古屋鋭治

問 火災発生時には、同報無線による放送を望む市民の声が非常に強い。このため、早期実施を強く求める。

答 同報無線による放送については、再検討した結果、平成28年2月1日から実施する。放送時間帯は、午前7時から午後10時までとする。



さあ、出動だ！

大仁東幼稚園の統合問題について

問 当園は、園児数が大変少ない状況が続いており、早期統合化の検討が必要と考えるが。

答 園児数は、定員80名に対し8名の現状である。少人数のメリットもあるが、集団でのダイナミックな遊びや活

動がしにくく、同級生の中で切磋琢磨、人間関係の調整等の社会性の発達に影響が出る可能性がある。統合化は、年度内に意見書をまとめ、保護者の意見を聞き進めたい。

中学生のバス通学費を無料に

問 中学生の通学費補助は65%であり、小学生の100%補助との格差を解消する必要がある。平成28年度から市の100%補助の決断を。

答 バス通学費の格差は、できる限り解消すべきと考えている。通学の実態を把握し、補助のあり方を検討したい。なお、該当地域は、浮橋、下畑、田原野、長者原、田中山区である。

不妊・不育治療費助成額の増額を

問 当市の助成は、両治療費に対し10万円。しかし、周辺自治体には既に30万円、20万円の補助もある。少子化対策の一環でもあり、増額の決断を。

答 妊娠に悩む方は、不妊治療の医療機関はどこにあるのか、妊娠の仕方などの相談機関の情報を求めている、対応したい。

なお、助成額は、上限20万円の三島市の状況を参考に検討していきたい。

スポーツ振興について

柴田三敏

問 学生(大学・高校・中学)や企業などの合宿・大会を積極的に誘致する考えは。

答 平成27年8月にモンゴルと当市との間で、2020年東京オリンピック・パラリンピックの柔道競技の事前合宿にかかる覚書を締結した。

今後、学生や企業などの合宿・大会の誘致に向け、広くスポーツ交流を進めていくための組織を編成した上で、限られた施設を有効に活用しスポーツツーリズムの推進に取り組んでいく。

問 公共施設の効率的な活用についての再検討は。

答 現在、長岡温泉プールは指定管理者制度を導入しており、市が直営の時に比べ、経費削減はもとより、利用者が増加し、スポーツの振興、健康の増進が図られ、市民サービスの向上に寄与している。

ほかの施設においても、設置目的や利用状況を踏まえ、指定管理者制度の導入を検討していく。

韮山反射炉のライトアップについて

平成27年中止の理由は。

問 例年、観光協会が開催するホテル観賞の夕べの期間中に、イベントの一環として韮山反射炉での夜間ライトアップが行われていた。平成27年5月4日のイコモス勧告以降、大勢の来場者や土産物店の解体工事が進められていることから、安全面での配慮のため主催団体にライトアップを遠慮していただいた。

問 再開する予定は。

答 ガイダンス施設等の建設は、平成28年11月まで続くので、来年度の実施は難しい。平成29年度以降の再開は、世界文化遺産の観点から、国や伊豆の国市史跡等整備調査委員会の意見を踏まえ、結論を出したい。



韮山反射炉

赤字続きの長岡南浴場の

閉鎖について

杉尾利治

問 「長岡南浴場は駐車場も無く、地元の方が利用しているだけ」と言われ、観光施設としての利用は無く、1日の入浴者は約33名前後。

1人当りの入浴経費は長岡北浴場316円・南浴場505円。現在の入浴料金は310円で長岡南浴場は赤字となる不合理なもの。長岡南浴場営業開始後の累積赤字は。

答 営業開始の平成21年度から平成26年度まで累積1170万円、1年当たり195万円の赤字。

問 平成14年6月、伊豆長岡町議会に「長岡の共同浴場を町に移管する請願」が出された。同年12月『厚生文教委員会』は「請願は町民の普遍的要素に乏しく審議すべきに苦慮したが、内湯が無い方、観光にも利用されることをかんがみ、請願は（長岡北・南浴場）2カ所だが、1カ所あっても良いと判断し採択」と本会議に報告し（長岡北浴場のみ建設を認め）可決。

平成17年「合併法定協議会」で長岡南

浴場建設が協議されたのか。

答 協議した記録は無く、温泉施設は新市に引き継ぐとの記載のみでした。

問 （長岡南浴場は）合併のどさくさ紛れに建設された。百歩譲ってもその後「長岡町の厚生文教委員会が決まっていたので尊重する」と全然違う説明がなされ、腹の虫が収まらないが一旦、元の長岡大衆浴場組合に返還するか廃止してどうか。

また、長岡南浴場建設時「温泉場活性化の起爆剤として」と説明されたが起爆剤は機能したのか。

答 現状は起爆剤としての効果は現れて無いと言わざるを得なく、指摘のあった点を十分精査し（長岡南浴場の）あり方について検討しなければと考えます。



長岡南浴場

葦山城跡における黒松植栽に

向けた取り組みについて

山下孝志

問 国指定史跡に向け、何が重要か。

答 発掘調査、文献調査、地籍地名調査で歴史的価値を明らかにし、史跡指定の範囲を決めていく。史跡指定に向けた合意の形成や、関係者間の各種調整も重要となります。

問 平成27年度以降の黒松植栽の取り組みは。

答 市は、平成23年に文化庁からの指導を受け、伊豆の国市史跡等整備調査委員会を設置。その下部組織、葦山城跡整備部会より、遺構を破壊する黒松の植栽行為は認められないとの強い抗議がありました。

問 葦山城跡黒松復活実行委員会との話し合いは。

答 国指定史跡を目指す重要な遺跡であることから、今後黒松を植栽できない。平成27年2月に植栽した7本も他に移植することに理解を求め、解決に向け協力をお願いしています。

問 今後の取り組みは。

答 二の丸、本丸については、植栽を

前提としたものでなく、学術調査として発掘調査を実施していきます。



植栽した黒松

劇団いず夢について

問 市補助金、平成26年度190万円の他に、施設使用料他の免除額は。

答 葦山文化センター・アクシスかつらぎの合計額は、平成26年度約167万円です。

問 独立自主運営を目指すべきでは。

答 現時点では難しいと思う。今後、補助金額の検討をしたい。

劇団DAN(ダン)について

問 施設使用料他免除額は。

答 合併時に補助金は廃止、平成26年度は2施設合計で114万円。今後、免除の見直しを図っていきたい。

第3回 市議会の議会報告会結果

～ 市民と議会の対話集会 ～

本市議会では、議会基本条例に基づき、平成 27 年 10 月 14・15・16 日の 3 日間で市内 3 会場にて議会報告会を開催し、延べ 120 人の市民の皆様にご参加いただきました。改めて、厚くお礼申し上げます。

今回のテーマは、「庁舎の集約化・斎場・し尿処理場について」「議会による事業評価について」の 2 項目でした。来場された皆様とは「市民と議会の対話集会」として、意義ある意見交換をさせていただきました。皆様から寄せられた多くのご意見・ご要望については、1 月に行政へ伝えさせていただきました。議会としては、今後の議会活動に活かしていきます。

貴重なご意見、誠にありがとうございました。

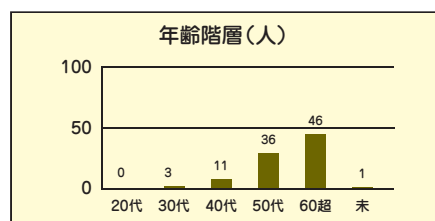
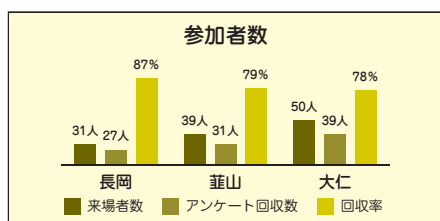
市議会議員一同

◆報告会での内容

- (1) 庁舎の集約化・斎場・し尿処理場について
- (2) 議会による事業評価について
 - ①高齢者温泉交流館維持管理事業 ②6次産業化推進事業 ③教育バス維持管理事業
 - ④建設一般事務管理事業 ⑤広瀬公園維持管理事業 ⑥中山間地まちづくり事業

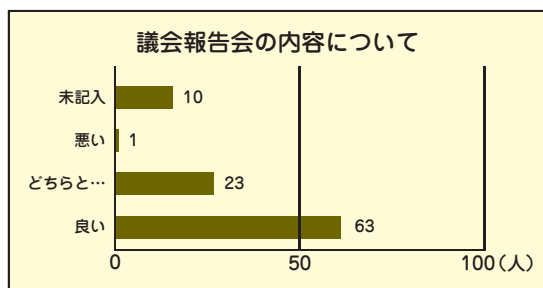
《議会報告会への参加状況》

参加者 120 人の内、97 人からアンケートにご回答いただきました。(回収率 81%)



	長岡会場	葦山会場	大仁会場	計
来場者(人)	31	39	50	120
アンケート回収(人)	27	31	39	97
回収率(%)	87.1	79.5	78	80.8

20代	30代	40代	50代	60代超	未	計
0	3	11	36	46	1	97



【来場者の感想等について】

良い	どちらとも言えない	悪い	未記入	計
63	23	1	10	97

◆ アンケート結果は、63人(65%)の方々が「内容が良い」との回答でした。また、「開催場所は良いが、開催時間が少し短い」、「開催の周知の仕方を含め、より多くの市民が参加できるように工夫を重ねるべき」、等のご意見をいただきました。次回の議会報告会の参考にいたします。

【各会場からのいろいろなご意見等】

※ ほんの一部ですが、順不同にてご紹介します。

【10/14(水) 韮山地区：韮山時代劇場】

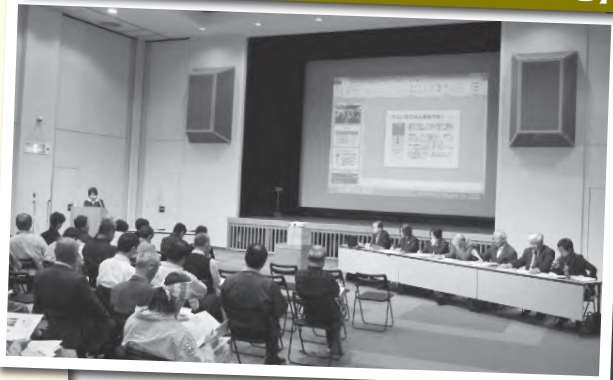


- ① 韮山体育館は老朽化しており、新しいものが欲しい。韮山支所跡に建設してほしい。バレーボール、コンサート、文化施設、美術館兼合宿所を目標に。
- ② 韮山支所はなぜ取り壊さないのか。し尿処理施設が支所隣にあるからと言っているが、新しい施設も必要ではないか。
- ③ 議員は、市民の代表という高い意識を持っていただき、市民が議会の傍聴に行きたいと思えるような議会にしてほしい。

- ④ 市庁舎の集約は、進め方に疑問がある。意見集約の方法から始めたらどうか。
- ⑤ 議会(定例会)が平日に開催されており、傍聴に行けないので動画配信をしてほしい。



【10/15日(木) 長岡地区：アクシスかつらぎ】



【10/16(金) 大仁地区：大仁支所】



- ⑥ 伊豆半島の観光交流人口が6千万人から4千万人に減った。観光と同時に市民のためにもなる伊豆スカイラインの無料化運動を県議と共に行ってほしい。
- ⑦ 市所有のバスが1台廃車となった。このため、子供たちや老人会などが不自由を感じている。改善してほしい。
- ⑧ 市庁舎1カ所への集約化については、市議会議員の考え方はどのようになっているのか。2案(長岡庁舎増築・伊豆箱根鉄道駅周辺)に絞られているのか。

《今回のアンケートから》

今回2つのテーマを設定しましたが、庁舎の統合化については統合の場合と増築の場合の財政的なシミュレーションの提示や、庁舎・斎場の議会としての方向性を示してほしいなどの要望が出されました。今回、特徴的であったのは、議員の個人的な問題についての質問・意見等が出され、従来と異なる報告会になってしまい、参加者から「議員の個人的な問題は報告会の場になじまない」との指摘が複数の方から出されました。平成28年度以降の報告会への教訓としたいと考えます。



平成 27 年度第 4 回(12 月)伊豆の国市議会定例会

平成 27 年度第 4 回(12 月)議会は、11 月 30 日から 12 月 17 日までの 18 日間で行われた。
条例の制定・改正、一般会計・特別会計の補正予算等について審査した。

審議結果・賛否一覧表

議案	議案の名称	審議結果	小澤五月江	内田隆久	佐野之一	杉尾利治	梅原秀宜	柴田三敏	天野佐代里	渡邊俊一	鈴木照久	柴田三智子	田中正男	三好陽子	古屋鋭治	山下孝志	水口哲雄	鈴木平一郎	後藤眞一
27 年度補正予算	一般会計(第 5 号)・国民健康保険特別会計(第 2 号)・後期高齢者医療特別会計(第 2 号)・介護保険特別会計(第 3 号)・簡易水道等事業特別会計(第 2 号)・下水道事業特別会計(第 4 号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
条例の制定	行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例	可決	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
条例の改正	税条例・消防団員等公務災害補償条例・国民健康保険税条例・野外活動センターの設置、管理及び使用料に関する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
契約の締結	神島ポンプ場電気設備工事の一部変更・神島ポンプ場機械設備工事の一部変更	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
その他	県市町総合事務組合規約の一部を変更する規約・財産の無償譲渡・伊豆市伊豆の国市外 1 組合行政不服審査会の共同設置に係る協議・駿東伊豆地区消防救急広域化協議会の廃止・農業活動拠点施設長崎会館の指定管理者の指定	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
諮問	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
意見書	少人数学級の推進等の定数改善と義務教育費国庫負担制度の国負担 2 分の 1 復元を求める意見書の提出について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議長の辞職	可決	○	○	○	○	×	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※ 1 ○印は賛成、×印は反対

※ 2 議長（後藤眞一）は、可否同数の裁決以外は採決に加わらない。

議会の動き

10 月

2 日 議会報告会実行委員会
8 日・14 日 議会だより特別委員会
9 日 資格審査特別委員会
14 日～16 日 議会報告会
19 日 議会全員協議会
20 日～22 日 福祉文教経済委員会視察研修

－ 11 月 －

4 日～6 日 総務観光建設委員会視察研修
15 日 伊豆の国時代まつり
16 日・25 日 資格審査特別委員会
19 日 議会報告会実行委員会
20 日 議会運営委員会
20 日 福祉文教経済委員会
20 日・24 日 議会全員協議会
30 日～12 月 17 日 議会第 4 回(12 月)定例会

－ 12 月 －

3 日 総務観光建設委員会
4 日 福祉文教経済委員会
10 日・15 日 資格審査特別委員会
16 日 議会運営委員会
17 日 議会全員協議会



伊豆の国時代まつりに参加

【委員長】
小澤五月江
【副委員長】
柴田三敏
【委員】
田中正男
山下孝志
三好陽子
天野佐代里

議会だより
特別委員会

次回議会の予定

平成 28 年第 1 回(3 月)議会

2 月 25 日(木)・・・議会初日
3 月 10 日(木)・・・一般質問初日
3 月 18 日(金)・・・議会最終日

※本日程は予定であり、都合により変更する場合がありますので、ご了承ください。
各定例会の正式な日程は、定例会前に開かれる議会運営委員会で決定します。